



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 103 号 (2019)

<http://www.ffi-saitama.com/>

Noumea Club との交流

(ニューカレドニア 渡航)

2019/9/17 ~ 9/24 AC: 浜 敬子・堀切 京子



AC を経験して

初めての AC を引き受けましたが、共同 AC ということで堀切さんにもお願いしました。

2016 年にヌメアクラブを受け入れ、そのリターンとしてのヌメア渡航は、同じホスト・アンバサダーとしては堀切さんだけでした。問題が生じた時は渡航参加者の皆様のご協力や、ヌメアクラブ会員の日本人、加藤かつ子さんの通訳のおかげで AC は助けられ、おかげさまで AC を楽しんでやることができました。ありがとうございました。

ニューカレドニアはニッケル鉱山労働者を介して日本との交流が深く、ゆかりのある THIO (チオ) へ訪問した

浜 敬子

際には日本人墓地で花と線香を手向けました。ヌメアクラブの一員には日系の方がいらっしゃいます。

歓迎のレセプションではモンドール市長に盆踊りを披露しました。また、ニューカレドニアはフランス領であり、住民の Melanesian、Polynesian に Asian と European が住む多文化共生の島国。郷土料理のブーニャやフランス式にデザートはチーズとフランスパンなど、飲んで食べて、歌って踊って、しかも泳いでと、美しい自然と人々との交流をのびのびと存分に楽しんで来ました。

初参加のニューカレドニア

長濱 公子



伝統料理のブーニャを頂いたり、海だけではない、天国に一番近い島の本当の姿が、少しでも知ることが出来て、普通の観光では知れないだろう貴重な経験が出来た事は興味深かったです。ホストの方はとてもスタイルの良い明るく澁刺とした方でよく歌を歌ってくれる活発な方でした。カッコよくていつも素敵だな～と思いながら一緒に行動していました。ヌメアの皆さんは、お元気で良く喋り、歌い、ダンスが好きでゲストを楽しませてくれました。

フランス語しか話せない方もいたりお互い母国語ではない、英語でのやり取りでしたが、伝えようという気持ちやおもてなしの心は、私なりに受けとめる事が出来たと思います。とても、掛け替えの無い体験が出来ました。

今回、一緒に参加された皆さまには、渡航前、渡航中、不慣れな私にアドバイスやサポートをして下さったり、楽しいお話を聞かせて下さったりと大変お世話になりました。忘れ難い思い出が出来ました。本当に有難うございました。

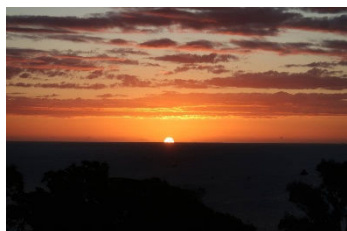
今回、初めて F F 埼玉クラブで渡航に参加させて頂きました。初参加で初のニューカレドニア、どんな旅行になるのか？期待もあるが不安もある。そんな気持ちで始まった渡航でしたが、もう楽しかった！の一言に尽きます。素敵な方々に素晴らしい景色。アメデ島の海の青さに灯台から見た美しい景色と急な螺旋階段。ウミガメちゃんにウミヘビ。それとは、対照的なアウトバックドライブで行ったヤテ。カナック部族の集落を垣間見たり、

10年ぶりの渡航

渡航を決めてから慌ただしくスタートしました。まず一番始めにパスポートを取得しなければならないので、本籍地の役場に連絡して、戸籍謄本を取り寄せる所から始まりました。次に、渡航に向けて色々準備がたくさんあるのではないかと不安になりました。10年ぶりの渡航！まるで浦島太郎のようだ！！初心に返ったようで用意するのも、なにもかもが新鮮でした。

心細い悩み事は飛行機に乗ってしまったら心配は消えて、これから始まる一週間のステイする期待の方が大きくなってワクワク感でいっぱいになりました。

メールの交換はありましたが、空港でホストの笑顔を見たらホッとしました。ホストのシルビーは時間にきっちりていつも早めに集合して、いち早く帰るので皆さんと話す余裕がなかったのがちょっと残念でした。ホスト宅は高台にあり



Ouen toro 丘と海が一望に見える所で素晴らしかったです。毎日、バルコニーでの食事や会話が一番楽しく印象に残っています。バルコニーからの眺めはずっと飽きずに見ていられ心地よい場所でした。一日中、のんびり昼寝や読書や音楽を楽しめたらもっといいのになあ～と思いましたが、それには時間が足りませんでした。ホストのベットを提供して受け入れてくれたことはとても感謝しています。渡航楽しかったです。



ニューカレドニア(ヌメア) 渡航に参加して

丸山 由喜雄

ニューカレドニアの空港到着時のバンド演奏とヌメアクラブの歓迎から始まり、モンドール市レセプション、ニッケル鉱山博物館、アメデ島、伝統的食事ブーニャ、チバウ文化センター及びヌメア市場などたくさんの行事を楽しみました。ホストは、Yvesさんと姪の Juliette さんです。Juliette さんは、フランスの大学の学生でインターンシップのためにヌメアに来ていました。ホストの家からは、モンドール山と海が見え、素晴らしい景色でした。

伝統的食事ブーニャは、バナナの皮で包んだ(ウズラ、野菜バナナ、カボチャ、タロイモ、ココナッツミルク)を土の中で蒸し焼きにした郷土料理です。ウズラは、小骨がありましたが、野菜も含めておいしかったです。

アメデ島では、グラスボートの底を通して亀、魚、サンゴ、ボートのガラスに吸着したコバンザメを見ることができました。この島で、初めてのシュノーケリング体験し、縦縞の魚やサンゴを見ることができ、非常に楽しい体験でした。またアメデ灯台の上からは、外洋、サンゴ礁とラグーンのパノラマが広がり、非常に美しく感動しました。

最後に、ニューカレドニアの素晴らしい自然、交流を体験させていただき、FF ヌメア及び FF 埼玉の皆様にお世話になり、ありがとうございました。



ヌメアで2家庭のホームステイ

小川 幸子



此の度のヌメア渡航、皆々様ありがとうございました。役員の皆様の隠れた努力に感謝です。私は2ヶ所のステイで、それぞれのヌメアの家庭を体験出来て幸せでした。

一つ、難しいなあ〜と感じた事は2家庭のホストが一緒の時、どちらかに偏った接し方ではいけないので気を使いました。又、フレンチ訛りの英会話はブローケンイングリッシュの私には大変でした。最初のホストはホスピタビリティに溢れた Susanne 。

彼女は英語を子供達にも教えて居たとの事。彼女は私達の集まりと解散時のホストへの引き渡しのチェックで集まり場所に早く行き、最後まで残ってくれました。彼女とはこれからも付き合いたい方です。

もう一人の Cécile は普段と余り変わらず動いていて、私もかえって気楽でした。彼女の所には grandniece の Elena が来ていて彼女は私の grandniece と同じ 10 才なのでとても楽しく過ごせました。

今回憧れのニューカレドニアは日本の八重山諸島のような所だと感じました。

今度は皆様とどこへ行けるのかな〜。と楽しみにしています。



『天国に一番近い島・ニューカレドニア』

神谷 千春



初めてFFの渡航に参加しました。それもあの『天国に一番近い島・ニューカレドニア』声を掛けてくれたやすよさんに、感謝！！そして、FF埼玉の皆様、いろいろと助けていただき、ご迷惑もお掛けしましたが、笑顔の素敵な皆様に感謝しています。久しぶりの海外、行動が遅く、準備も儘ならないうちに出発の朝が来ました。でも、気づいたら日本でした。

ヌメアの方や皆様のお陰で、ニューカレドニアを満喫しました。真夜中の空港、ホストや現地のパフォーマンスの歓迎、とても嬉しかったです。

ステイしたマリエメ・ジャッキー夫妻のお宅は、とてもリラックスできて、楽しい日々でした。マリエメさんは、少し

忙しそうでしたが、ニューカレドニアの日常？生活、イベント等、でものんびりする時間もあり、充実した日々でした。モンドール市長による素敵なレセプション。珈琲がとっても美味しくて、豆も良いのでしょうが、やはり水が美味しいんですね。毎朝の珈琲も大好きでした。学生のレストラン、チオ鉱山、アメデ島、海を見ながらブルーニャランチ、マーケット、チバウ文化センター、パン作りワークショップ、ホストとのシーフードレストランでのランチ等々、とても楽しく、素敵な景色や食事でした。その中でも最後のディナーが美味しくて、楽しくて、皆さんの優しさが感じられました。ホームステイの楽しさを感じられ、とても楽しい思い出に残る旅になりました。



FF で初めての渡航

海外にはあちらこちら行きましたが、気楽な旅行会社の団体旅行に、いつもエスカレーターのようにのって、見聞してきました。今回は現地の方たちと数日間を共にして心と心を通い合わせ、本音を聞くこともできました。どちらも良いのですが、一番は人と人との濃いふれあいができるホームステイです。ありがとうございました。

谷池 教子



ホストの加藤さんと



チバウ文化センター入り口にて



ポリネシアンダンスショー

5月イベント

「品川宿、池田山散策」

山本久美子



晴天の5月、品川区観光協会のガイドさん達に案内してもらったツアーに参加、まずは江戸時代の品川宿の賑わいや繁栄ぶりに思いを馳せて感慨一入。現在、神社のお祭りや歴史を誇りに暮らす、地元愛溢れる住民の方の言葉に品川訛りあり。慶應元年創業の履物屋さんのある商店街、レトロな雰囲気が新鮮。

それとは対照的な商店街、日本一の長さが人気の戸越銀座でランチです。美味しいお魚定食はうれしい低価格、築地に負けません。

午後はガラリと雰囲気の違う池田山周辺へ。大使館や大豪邸ばかりが居並び、なぜか人影はなく、静かな緊張を湛えています。その一角に旧正田邸跡「ねむの木庭」がありました。いっぱい愛すべき花々や合歓の木を見て、即「ねむの木の子守歌」の旋律を思い出しました。

作詞の美智子上皇后様の感性を育くんだ環境に納得。感じ入りました。

役員さん、好企画に感謝です。楽しかった！



8月イベント

「どの出会いも大切に」 2019. 8.10(土) 原田 史



ートクラスを大学で開いておられる由。

5～6 年間モスクワ駐在だった長谷川氏は天然資源に頼りすぎのロシアはアンダラ経済だと断じられ、驚いた。

終了後に開かれた懇親会はビアホールでの楽しい集いだったとか、夏負け気味で参加を断念したのが悔やまれる盛夏のイベントであった。

冒頭に今年初めに入会の会員、谷池さんがウガンダにゴリラを訪ねた等の数多の経験 を語ってくださった。同じく会員の三好さんは Global Exchange でロシアに滞在 した折に触れた「週末は ダーチャで」の優雅な生活を紹介。

一方、駐在員として米国に長く滞在された小川氏は日本人の交渉力の低さを実感し、一般人参加可能のディベ



FF関東ブロック会議

道江幸江

2019 年 7 月 7 日(日)に埼玉クラブの担当で With you にて開催された。

37 名の参加で遠くは山梨から若い会員さんが 1 名参加してくれた。

金元さんより受け入れ Fee が増え観光旅行になっている場合があり改めて交流を深める「hospitality の精神を磨いていきましょう」の報告があった。

東京クラブからは、南アフリカケープタウンでは白人だけの交流、ソウルでは国レベルの冷たい関係とは違い温かい交流は素晴らしかった、との報告があった。

その後 4 グループでの討議の後に懇親会があり、ブリランテのレストランで大いに盛り上がった。

新入会員紹介



大山 芳江

定年退職後どうしたものか、と思案していたところでFF埼玉の皆様との出会いがありました。外国映画・海外旅行、大好きです。一緒に活動させていただき、皆様からパワーをいただけることを楽しみにしています。



神谷 千春

FFの事は、前から聞いていてとても興味がありました。昨年、日光バスツアーに参加。とても良い体験ができ、加入を決めました。世界の大人の文化交流、少しずついろんなことを吸収したいと思えます。よろしくお願いします。



小暮 江津子

今回 縁があつてFF埼玉に入会させて頂くことになりました。皆さまのパワーをいただき、楽しみながら、少しでもお手伝いできることがあれば嬉しいです。宜しくお願い致します。

今後の予定

2019/11 月 6 日(水) ～13 日(水)	レスターシャクラブ受入れ
2019/11 月 23 日(土)	10:00 理事会 シーノ大宮 9F 学習室 3
	13:00 レスターシャクラブ受入れ報告会 シーノ大宮 7F 講座室 3
	15:00 第1回グレートーシンシナティクラブ受入れ準備会シーノ大宮 7F 講座室 3
2019/11 月 28 日(木)	13:15 ニューカレドニア家庭料理講習会 桜木公民館 6F 調理実習室
2019/12 月 15 日(日)	10:00 理事会・シーノ大宮 7F 講座室 2
2020/ 1 月 18 日(日)	10:00 理事会・シーノ大宮 9F 学習室 1
2020/ 1 月 26 日(日)	総会・新年会

編集後記

身軽な一人旅も乙。FFS には共感し合える旅が待っています。ぜひお気軽に仲間を探しにいらしてください。(H.N)

ラグビーWCで日本代表が初めてベスト8入りを果たした。観戦の日本人観客が参加国の国家を歌っていることが美談として報じられた。11月にはレスターシャクラブの受け入れが始まる。ラグビー発祥の地、誇り高きイングランドからだ。優勝候補でもある。

今から受け入れが楽しみだ。(H・K)。



編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

〒363-0026 桶川市上日出谷 138

TEL : 048-786-5598

会報編集担当 : 石橋、加藤、浜、浜島、堀切

HP 担当 : 堀切

発行日 : 2019 年 10 月 31 日